

第5学年 社会科改善学習指導案

公開授業1
授業者 三浦 美乃
公開授業2
授業者 金子 美徳

1 単元名 工業生産を支える人々 自動車づくりに励む人々（教育出版5年上）

2 単元について

(1) 学習者について

児童は、1学期に米づくりや水産業などの第1次産業について学び、食料生産は、自然環境と関わりが深いことや、生産に関わる人々に関心を持ち、生産の工夫や努力という視点をもって学んできた。その際、写真やグラフなどの資料を読み取り、根拠をもって話し合いに参加したり、発表したりする活動を行ってきた。

5年1組の児童の社会科に対する関心は高く、進んで考えをもととする児童がいる反面、資料から必要なことを読み取れず、自分の考えに自信がもてない児童もいる。現在は、グループでの話し合い活動に取り組み、互いに教え合いながら学びを深めることができるよう交流している。5年4組の児童は、自分の考えを表現することが得意な児童と苦手な児童に大きく分かれている。また、資料から必要な情報を読み取ることが苦手な児童も複数いる。そこで自分の考えをもつ手立て・資料を読み取る手立てとして、資料をよりどころにしたグループの話し合いを意識的に取り入れ、学習を行っているところである。

(2) 学習材について

本単元では、我が国で行われている様々な工業生産について理解させるとともに、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして工業生産を支えていることを理解する。また、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、思考・判断・表現する資質・能力を育てていく。

本学習材では、日本の基幹産業であり、関連工場の広がりも大きい自動車生産を取り上げる。自動車・機械類を生産する機械工業は、貿易や海外生産というテーマとも密接に関わってくる工業であること、現在工業生産額のうち最も大きな割合を占めていることから、単元全体で一貫して追究するにはふさわしいものとする。また、隣の金ケ崎町に大規模な自動車工場があり、本単元と関連して見学活動を行うことができ、実際に工場の様子や働く人々の様子を確かめることでさらに関心や理解を高めることができると考える。

本単元の最後には、福祉や環境・安全に配慮した自動車づくりについて考える活動を行う。日本の工業の現状を知り、消費者のニーズと生産者の工夫や努力の関係を考えることによって、これからの工業のあり方に目を向けさせていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元は、自動車生産を通して日本の工業について学んでいくが、自分たちの身近にある自動車工場に照らし合わせたり、見学を通して学んだり確かめたりしたことを大切にしながら学習を進めたい。

第1次では「つかむ」段階として、児童の生活経験から、自動車は生活に便利な物であり、様々な種類の自動車が作られていることを話し合う。さらに日本の自動車は海外にも多く輸出され、性能がよく人気があることを知らせる。その中で、自動車はどんな工場でのように作られているのか、なぜ日本や海外でたくさん売れるのかという学習課題をもたせ、これからの学習計画を立てる。本単元で学ぶ工業生産については、工場見学等の経験が少なく、子ども自身の体験から予想させたり、仕事の大変さを実感させたりすることが難しい。そのため、工場のパンフレットやグラフなどの資料を準備し、自動車生産の理解につながるよう準備していきたい。

第2次では「きく・あらかず」段階として、自動車工場での組み立ての様子、安全に効率良く作るための工夫や努力、関連工場との連携や運輸について学習する。自動車工場の組み立ての様子は、写真資料と共に映像を見せ、より実際の様子を感じられるようにする。また、効果的な資料を提示し、資料を調べながら主体的に学ぶ場面や、思考を必要とする発問からグループで学び合う場面を設定し、社会的事象を比較し関連付け、見たり考えたりする力へとつなげていきたい。

第3次では「いかす」段階として、消費者のニーズに応えた自動車づくりや環境に配慮した自動車づくりを取り上げ、「未来の自動車づくり」について考えていく。「人にやさしい自動車」「環境に配慮した自動車」を取り上げながら、これからの自動車作りには、どのようなことが求められていくかについて、一人一人が考えをもてるようにしたい。

3 単元の指導目標と評価規準

(1) 単元の指導目標

- 自動車づくりについて様々な仕事について調べ、工場で働く人々や輸送にかかわる人々の工夫や努力、願いを捉え、自動車工場と関連工場との結びつきや運輸のはたらきを理解するとともに、消費者の願いについて調べ、ニーズに応える利便性や安全性、環境に配慮した自動車づくりが進められていることに気付く。

(2) 単元の評価規準

観点	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象に ついての知識・理解
概ね満足できる	日本において自動車産業が盛んな理由や自動車工場の仕事の工夫や努力に関心をもち、意欲的に課題を調べようとしている。	自動車の生産性を高めるための効率化の工夫や安全性への努力、自動車産業と国民生活の深い結びつきについて考え、適切に表現している。	写真や地図、統計などの資料を適切な方法で収集・選択し、読み取っている。	自動車工場で働く人々の工夫や努力、今後の自動車産業に求められることについて理解している。

4 学習指導計画 (全15時間)

指導過程	主な学習活動	【評価基準】(評価方法)
<p>第1次</p> <p>自動車づくりについて調べたいことを話し合い、学習の見通しをもつことができるようにする。 (2時間)</p>	<p>①なぜ日本車の需要が高いのか、その理由から、日本の自動車づくりにおける工夫について話し合い、単元での学習問題を設定する。</p> <p>②デザインや設計の様子の資料から、自動車づくりで調べてみたいことを明らかにし、学習計画を立てる。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の自動車づくりは、どのような工夫や努力で生産されているのか関心をもち、調べたいことを話し合っている。 (発言) (ノート) <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車のデザイン・設計に携わる人々について調べたことをもとに、その後の自動車づくりの様子やそれに携わる人々の工夫や努力について調べる学習問題を考え、表現している。 (発言) (ノート)
<p>第2次</p> <p>工場の立地や自動車づくりの様子を調べ、自動車工場の立地の条件を考えるとともに、効率的な自動車づくりの工夫について理解する。また、関連工場のはたらきや結びつき、輸送手段やその工夫についても考えることができるようにする。 (12時間)</p>	<p>③工場の配置の工夫に気付くとともに、工場施設の立地条件について考える。</p> <p>④工場施設の立地条件から、金ヶ崎町に工場が建てられた理由を考える。(本時1)</p> <p>⑤自動車ができるまでの工程や働く人たちの様子を捉える。</p> <p>⑥自動車づくりで機械やラインを使っていることを知り、働く人々の工夫や努力について捉える。(本時2)</p> <p>⑦自動車づくりで人の細かい作業が必要であることに気づき、人とロボットの分業について捉える。</p> <p>⑧自動車工場では人々が働きやすい仕組みを整えるとともに、環境に配慮しながら生産していることを捉える。</p> <p>⑨自動車シートの関連工場について調べ、立地条件や作業の様子などから、関連工場の生産や</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に質問したり、メモしたりして見学活動を行っている。 (発言) (しおり) <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から自動車工場の立地条件にふさわしい点を考え、表現している。 関連工場では、効率よく生産・出荷するため、品質を保つため、様々な工夫や努力をしていることについて考え、適切に表現している。 自動車づくりを支える関連工場のはたらきや、関連工場と自動車工場との結びつきについて考え、適切に表現している。 輸送に関わる仕事の様子について調べたことをもとに、新車を大切に扱い届ける人々の工夫や努力について考え、表現している。 輸送手段ごとの利点や欠点について様々な視点から考え、表にまとめている。 学習したことをもとに、質問し

	<p>出荷における工夫や努力について考える。</p> <p>⑩注文通りに部品を納めるための仕組みや関連工場で働く人の工夫や努力について調べ、自動車づくりを支える関連工場のはたらきや、自動車工場との結びつきについて考える。</p> <p>⑪工場で生産された自動車の輸送について関心をもち、運搬船やキャリアカーに積み込む仕事の様子や働く人たちの工夫や努力について考える。</p> <p>⑫自動車の輸送の経路や方法を調べ、それぞれの輸送手段の長所を生かした物州の仕組みを捉え、その仕組みが工業生産を支えていることに気付く。</p> <p>⑬⑭自動車工場を見学する。</p>	<p>たいことや調べたい事を考え、見学のときに表現している。 (発言) (ノート) (しおり)</p> <p>【技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の立地について、写真や地図などを互いに照らし合わせるなどして、具体的に読み取っている。 ・工場の人たちが働きやすくなるための工夫や、環境を守るための取り組みについて、写真や資料を関連付けて読み取っている。 ・収集した資料をテーマに沿って整理・分類したり、消費者のニーズとすり合わせて読み取ったりしている。 (発言) (ノート) <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車づくりがラインの工夫や分業の仕組みなどによって、効率的に進められていることを理解している。 (発言) (ノート)
<p>第3次</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自動車づくりに求められていることについて考え、これからの自動車づくりについて自分の考えを持つ。 (1時間)</p> </div>	<p>⑮自動車会社では、環境にも人にも優しい自動車づくりに取り組んでいることに気づき、これからの自動車づくりについて、意見をもつことができるようにする。</p>	<p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの自動車づくりについて、消費者、生産者の両面から考え、適切に表現している。 (発言) (ノート) <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの自動車づくりには、快適性、利便性だけでなく、地球環境に配慮した自動車づくりが重要であることを理解している。 (発言)

5 本時の指導 (4 / 15) 公開授業1

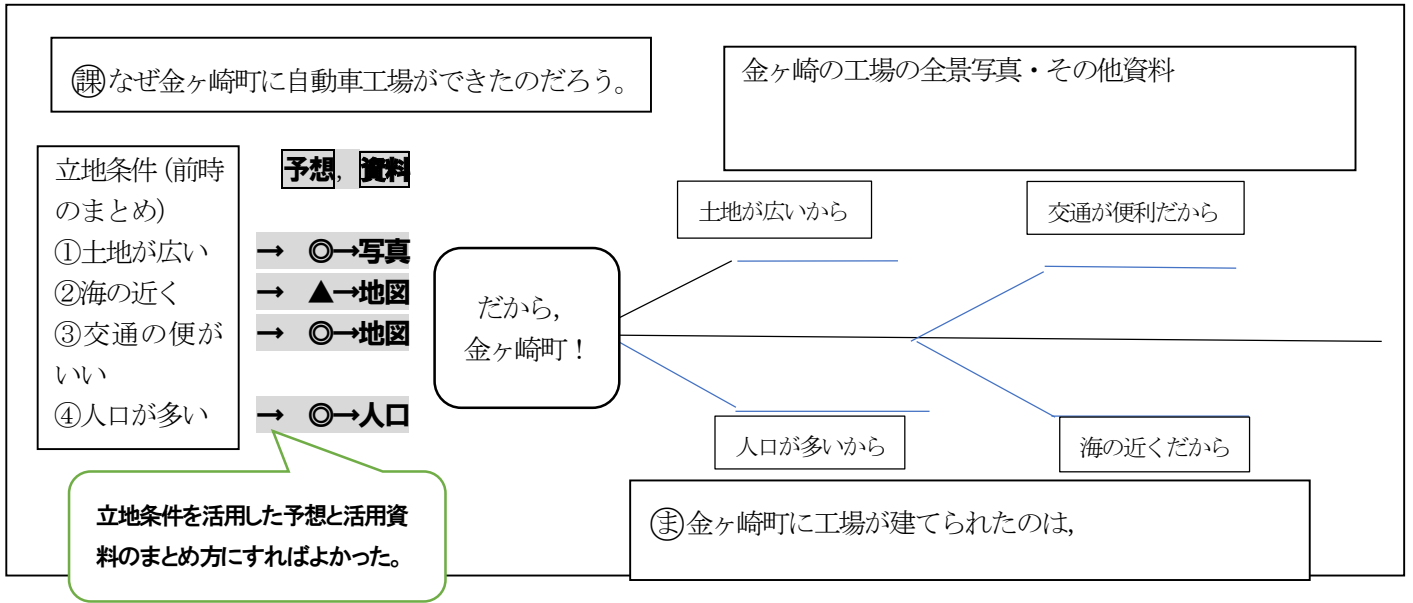
(1) 目標 自動車工場の写真や地図を読み取る活動から、工場の立地条件について考えることができる。

(2) 展開

展開	学習活動	学習内容	具体的な手立て	資料・評価
<p>つかむ (5分)</p>	<p>1 前時想起</p> <p>(1)前時の学習を振り返り、立地条件を確認する。</p> <p>(2)岩手県のどこに工場があるか予想する。</p> <p>(3)工場が金ヶ崎町にあることを確認する。</p> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ金ヶ崎町に、自動車工場ができたのだろう。</p> </div>	<p>・立地条件の確認</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>つかむ</p> </div> <p>課題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式で場所を予想させることで、どの子も学習に参加しやすくなるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立地条件の掲示 ・岩手県の地図 ・金ヶ崎町の工場の全景写真

<p>きく・あらわす (30分)</p>	<p>3 課題解決 (1)予想を交流する。 (2)前時の立地条件を確認し、必要な資料を確認する。 (3)金ヶ崎町について、条件に沿って調べる。 (4)調査結果を交流する。 (5)結果を検証する。</p>	<p>・自動車工場の立地条件</p> <p>既習の立地条件に当てはめることで、視点もち予想できるとともに、時間も短縮。</p> <p>資料の提示の仕方を工夫することで、工場の広さを実感させる。</p> <p>海外使用車の資料を提示し、海外に輸出している事実から高速道路での運輸と金ヶ崎の位置について考えさせる。</p>	<p>きく・あらわす</p> <p>・予想の段階で、既習の立地条件に当てはめて予想させ、検証に必要な資料を考えさせる。</p> <p>・資料を確認する際、工場の広さを実感できるように、学校の敷地を写真の中に表して比較する。</p> <p>思いを共有するための工夫 ・思考ツールを使い、調査内容を可視化し、発表のとき、情報を共有しやすくする。</p> <p>・海の条件がないことを確認し、なぜ金ヶ崎なのか全体で交流し、検証DVDにつなげる。</p>	<p>・地図 ・統計資料 ・思考ツール(フィッシュボーン) ◇工場の立地について、写真や地図などを互いに照らし合わせるなどして、具体的に読み取っている。(発言・交流) 【技】 ◇資料をもとに、なぜ金ヶ崎町に工場があるのか考え、その理由を表現している。(発言・交流) 【思】 ・海外使用車の写真 ・検証DVD</p>
<p>いかす (10分)</p>	<p>4 まとめ</p> <p>金ヶ崎に自動車工場が建てられたのは、①土地が広い②海に通じる道路がある③人口が多い④交通が便利という条件が整った場所だから。</p> <p>5 振り返り (1)学習の振り返りを書く。 (2)次時の学習を確認する。</p>		<p>振り返りでの学びの実感</p> <p>・本時で学んだことや考えたこと、見学で聞いてみたいことなどを振り返る。</p> <p>いかす</p> <p>・次時からは、自動車づくりについて学習することを確認する。</p>	

6 板書計画 公開授業 1



7 本時の指導 (6/15) 公開授業2

- (1) 目標 自動車ができるまでの工程や働く人たちの作業の様子を調べ、生産に込められた工夫や努力を捉える。
 (2) 展開

展開	学習活動	学習内容	具体的な手立て	資料・評価
つかむ (5分)	1 前時想起 (1)自動車生産ラインの写真を基に、各工程の仕事について確認する。	・ライン ・各工程の名称 プレス 溶接 塗装 組み立て 検査	つかむ ・各工程の様子を写真で見ながら、何をしている様子か、どんな順番で自動車が作られるかを確認させる。	・自動車生産ラインの写真
	2 課題把握 (1)自動車生産ラインでは、2分に1台の自動車が生産されることを知り、自動車工場がどのような生産を目指しているか考える。 自動車工場では、はやく、正確に、安全に作るために、どんな工夫や努力をしているだろう。		課題把握 ・前時でまとめた生産ラインのよさを確認し、速さ、正確さ、安全性を視点に、その工夫や努力を調べていくという見通しをもたせる。	生産ラインのよさについては前時に取り上げ、本時で確認し課題の視点とする。
きく・あらわす (30分)	3 課題解決 (1)予想を交流する。 (2)資料から自動車を効率的に作る工夫や努力を見つけ、それがなぜはやく正確に安全に作ることにつながるか根拠を話し合う。 (3)自動車生産の工夫や努力について、全体で交流する。 (4)話し合ったことを検証し、確かめる。	・生産ラインの工夫とそれらが効率的な生産のためであること ・人とロボットが効率よく分業していること。	きく・あらわす 思いを共有するための工夫 ・自動車工場の生産の工夫を「はやく」「正確さ」「安全性」に整理しながら見通しをもって調べられるようにする。 ・資料から読み取ったことをグループで共有し、資料のどの部分からどんなことが分かったのか、根拠を明確にして話し合うように促す。 ・人が行っている作業、ロボットが行っている作業はどんな仕事か考えさせる。	・自動車生産ラインの資料 ・思考ツール (クラゲチャート)
	4 まとめ はやく、正確に、安全に作るために、ロボットを使い、チームで作業を分担している。また、大事な部分は、人が作業をして確かめている。		振り返りでの学びの実感 ・本時で学んだことや単元を通してさらに学びたいことを考え、整理させる。	・人とロボットの分業のよさについて押さえることでまとめにつなげる。
いかす (10分)	5 振り返り (1)学習の振り返りを書く。 (2)次時の学習を確認する。		いかす ・本時で学んだことを基に、新たな疑問を整理させ、自動車工場の見学の時に、聞きたいことをまとめさせる。	・検証 DVD ◇自動車づくりがラインの工夫や分業の仕組みなどによって効率的に進められていることを理解する。 【知】 (ノート・交流)

8 板書計画 公開授業2

